「総会」から「総合学術集会」に「生老病死」をテーマに開催

■会期　4月14日（日）
■会場　京王プラザホテル新宿
※プログラムは一部WEB視聴も可能（プレ・イベントとランチョンセミナーは不可）

2014年開催の第31回以来、10年ぶりの神奈川県内科医学会主管での開催となる総合学術集会（旧名称：総会）が4月に控えている。日本臨床内科医会会長の菅原正弘氏と会頭の金森 晃氏に、その見どころと聞きどころを語っていただいた。（編集部）

菅原正弘氏

金森　晃氏

メインテーマは「生老病死」実地医家も身近な話題

菅原　第41回日本臨床内科医会総合学術集会が、神奈川県内科医学会主管で開催されます。今回から定款改定により「総会」から「総合学術集会」に名称を変更するとともに内容も変わりました。

金森　菅原会長から第41回ではあるけれど、第1回総合学術集会のつもりで、今後に続くような企画をと仰せつかりました。神奈川県内科医学会では1年前より準備委員会を立ち上げ、演者の先生も含め、オール神奈川のメンバーで企画・運営をしています。

菅原　本当に素晴らしい企画・プログラムを作成していただきました。特にこれまでの総会では掲げていなかったテーマが決められています。

金森　今回の総合学術集会では「生老病死」をテーマに掲げました。「生老病死」は仏教の言葉で、人生で避けて通れない四つの苦しみ「四苦」を意味しますが、われわれ臨床内科医が診療をする上で必ず直面する出来事です。サブテーマに「超高齢社会の内科診療」を加えましたが、特に超高齢社会に非常に密接に関連してくるのが「老」「病」「死」です。非常に重くもあり大事なテーマですので、1日で議論を尽くせるものではありませんが、本学術集会であらためて「生老病死」を考えるきっかけにしていただければ本望です。

菅原　確かに大変重要なテーマで、患者さんだけではなく医師自身にも関係のあるテーマです。死を身近に感じつつ生を実感するというのは非常に大事なことです。

プログラムを拝見すると、どれも臨床内科医の関心が高い内容になっていますね。

金森　まず、**ランチョンセミナー**は、3会場に共通のテーマとして、「老」に関わる「超高齢社会の内科診療」を掲げました。いずれの会場も基調講演30分間に続いてパネルディスカッションを予定しています。パネリスト（各3～4名）は神奈川県内科医学会の学術委員会代表者にお願いしています。**第1会場【南館5階（エミネンス）11：50～13：00、テーマ「超高齢者の治療方針～どこまでどのように治療するか～」/基調講演：宮塚　健氏（北里大学医学部内分泌代謝内科主任教授）】**では、例えば、90歳の方のがんのケースでは、どこまでどのような治療をするのかなど、超高齢者の治療目標について討論します。**第2会場【（本館4階（花A）11：50～13：00、テーマ「超高齢者の薬物療法～何をどのように処方すべきか～」/基調講演：田村功一氏（横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学主任教授）】**では、超高齢者の処方について討論します。若い方や中年の方と超高齢者では処方の種類や投与量が異なると思いますが、超高齢者への処方については今まできちんと学んできませんでした。その辺りをしっかりと討論できればと思います。**第3会場【本館4階（花C）11：50～13：00、テーマ「超高齢者の心とケア、在宅医療から看取りまで～患者さんが望むこととは何か～」/基調講演：小松　茂氏（神奈川県立循環器呼吸器病センター部長）】**では、在宅から看取りまで、超高齢者の心とケアについて、実臨床に即した討論を行う予定です。

菅原　ランチョンセミナーは全て拝聴したいほど、実地医家にとって関心の高いプログラムが並んでいます。高齢者の治療についてはさまざまなガイドラインがありますが、テーマに掲げられている内容までフォローされているとは限りませんので、取り上げるテーマとしてはどれも重要です。

金森　パネルディスカッションで会場

23_4C_見どころ聞きどころ_24年3月.indd　50　2024/02/14　11:08:39

の先生方と一緒に討論することにより、それぞれのテーマに関して理解が深まることを期待しています。

実地医家が知っておくべき「病」「生」「死」

菅原　特別講演にご登壇予定の先生方も、聴取の関心を集める方ばかりですね。

金森　**特別講演１【13：15～14：15】**では、寺内康夫先生（横浜市立大学内分泌代謝学教授）にご登壇いただき、「心と身体と社会をつなぐ糖尿病診療」と題してご講演いただきます。国民病である糖尿病を通して病を学ぶ機会になればと考えています。糖尿病診療のみならず、幅広い内容のお話を伺う予定です。

菅原　糖尿病に特化せず、糖尿病を１つの例として、内科診療全般に関わるお話になりそうですね。

金森　**特別講演２【14：30～15：30】**では、横田南嶺老師（臨済宗円覚寺派大本山円覚寺管長）の講話を拝聴します。「死を見つめて生きる―仏教の死生観―」と題して、禅宗の宗教者から、生とは何か、死とは何かを語っていただき、患者さんのみならず、ご自身とその家族、友人の生と死についてあらためて考える機会となれば幸いです。

菅原　特別講演１で「病」を、特別講演２で「生」と「死」をあらためて知る。メインテーマにふさわしい特別講演となっています。

総合学術集会ではこれまでご紹介した内容以外にも、多彩なプログラムが組まれています。他に注目すべきプログラムがあれば教えてください。

金森　今回は**開会式・セレモニー【10：30 ～ 11：30】**の前に、**プレ・イベントを企画していまして、産業医研修会【（第14次労働災害防止計画の論点 ８：00 ～ ９：00・更新１単位）（高齢労働者の治療と仕事の両立支援 9：10～10：10・更新１単位）（高齢労働者のためのメンタルヘルス 8:00～9:00・専門１単位）（高齢労働者の行動災害（転倒・腰痛災害）防止について 9：10～10：10・専門１単位）】**と、**健康スポーツ医再講習会【（日医健康スポーツ医の資格を内科医はどう生かすか？ 8：00～9：00・１単位）（スポーツにおける頭部外傷 9：10～10：10・１単位）】**を予定しています。ご関連のある先生方はぜひお申し込みください。チラシ（**写真**）のQRコードから申し込み可能です。

菅原　定員はそれぞれ300名、100名、100名で、全体で500人と多めに設定していますが、先着順ですでに受け付けも始まっています。お早めのお申し込みをされたほうがいいですね。

金森　最後に**意見交換会【15：45～17：00】**を設けております。コロナ禍で顔と顔を合わせる機会が減少していましたので、久しぶりにお会いする日臨内の同志との旧交を温め、懇親を深めていただきたいと思います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

23_4C_見どころ聞きどころ_24年3月.indd　51　2024/02/14　11:08:41